

平成 2 9 年 6 月

伊東市議会 6 月定例会

市長所信表明に対する質問要旨

伊 東 市 議 会

市長所信表明に対する質問順序

- 1 正風改革クラブ 井戸清司君
(6月20日(火) 午前10時～午前11時50分)
- 2 自民・絆 中島弘道君
(6月20日(火) 午後1時～午後2時30分)
- 3 民進クラブ 四宮和彦君
(6月20日(火) 午後2時40分～午後3時40分)
- 4 公明党 長沢正君
(6月21日(水) 午前10時～午前10時40分)
- 5 日本共産党 重岡秀子君
(6月21日(水) 午前10時50分～午前11時30分)
- 6 伊東新時代。 犬飼このり君
(6月21日(水) 午後1時～午後1時40分)

※質問時間は、進行状況によって変更することがあります。

市長所信表明に対する質問要旨

正風改革クラブ 井戸清司

「伊東の魅力を発信し、文化力を高め、観光の振興と産業の育成によって、みんなが夢を形にできる未来を拓く」ための施策の大きな3本柱等から、各施策について、以下4点伺う。

1 「みんながつくる伊東市」から、以下3点伺う。

(1) 「未来ビジョン会議」の発足について、どのようなメンバーで構成し、具体的に何年後を見据えた将来像を描くのか伺う。

(2) 「地域タウンミーティング」の設置について、年間どのくらいの頻度で開催するのか伺うとともに、市職員も同席をする形で行うのかなど実施の方法を伺う。

(3) 「滞在型リフレッシュリゾート」を実現し、新しい湯治場の形を創造していくとのことであるが、具体的にどのような施策を講じていくのか、考えを伺う。

2 「みんなが楽しい伊東市」から、以下3点伺う。

(1) 「にぎわいの創出」について、伊東駅から松川遊歩道、松川河口、オレンジビーチと市街地を含むエリアに、人々が常に滞留するスポットを点在させていくとのことであるが、どのような仕組みを考えているのか伺う。

(2) 「生涯スポーツのまち伊東」を目指すとのことであるが、サッカー場の建設計画について調査・研究がどのように進んでいるのか、現在の状況を伺う。また、陸上競技場や屋内アリーナの建設計画については、建設場所の選定などさまざまな要件が必要であるが、どのように検討を進めていくのか、考えを伺う。

(3) 伊東駅周辺における整備事業の推進について、みずからが先頭に立ち、課題を解決していくとのことであるが、既存の計画を踏襲していくのか、それとも新たな計画を策定していくのか伺う。

3 「みんなが暮らす伊東市」から、以下2点伺う。

(1) 移住・定住施策として、美しい伊豆創造センターが運営する横浜のアンテナショップを活用するとのことであるが、どのように活用していくのか、また、伊豆や伊東の魅力をどのように発信していくのか伺う。

(2) 健康寿命を延ばすための施策に関し、以下2点伺う。

ア 介護予防事業を掲げているが、具体的な施策について、考えを伺う。

イ 生涯スポーツ及び生涯学習活動に参加しやすい仕組みを構築していくとのことであるが、どのようなことを考えているのか伺う。

4 八幡野地区におけるメガソーラー建設計画に対しては、観光関連業界、漁業従事者や地元の市民にとどまらず、ダイバーや観光客など、伊東の自然を愛する多くの方々が反対を表明しており、本市議会でも反対の決議案が提出される見込みであるが、同計画の現在の状況について伺う。

市長所信表明に対する質問要旨

自民・絆 中 島 弘 道

- 1 前市長が築き上げた成果と思いを引き継ぎつつ、変えていかなければならないと判断したものについては、前例にとらわれることなく変えていくとのことであるが、どのように変えていくことを考えているのか伺う。

- 2 「みんながつくる伊東市」に関し、以下2点伺う。
 - (1) シニア世代の社会参画の場を創設するとのことであるが、その取り組みについて、具体的な内容を伺う。

 - (2) 県から市への権限移譲を進めるなど行政のシステムを見直すことにより、スピードアップできる行政サービスについて、どのようなものが想定されるか伺う。

- 3 「みんなが楽しい伊東市」に関し、以下3点伺う。
 - (1) 入湯税の全てを観光に関する事業の経費に充てることにより、これまでの入湯税が充当されていたその他の事業に影響を及ぼすと思われるが、不足する財源についてどのように手当てしていくのか考えを伺う。

 - (2) メディアを活用した観光戦略としてフィルムコミッションを推進するとのことであるが、専門の部署あるいは専任の担当者の設置を考えているのか伺う。

(3) 社会体育施設の利用について、市外の方に制限があり、利便性が低いと考えられるが、スポーツツーリズムによる誘客対策としてどのように考えているのか伺う。

4 「みんなが暮らす伊東市」に関し、以下2点伺う。

(1) 子育て支援策について、以下2点伺う。

ア 「就学前の1年間の保育園・幼稚園の保育料を全額公費負担」するために要する費用の見込み額を伺うとともに、その財源をどのように確保していくのか。また、実施の見通しを伺う。

イ 「医療費の無料化を高校卒業まで拡充」することに要する費用の見込み額を伺うとともに、その財源をどのように確保していくのか。また、実施の見通しを伺う。

(2) 移住・定住施策の内容及び実施の見通しについて、以下3点伺う。

ア 移住促進プログラム

イ 市内企業に就職した場合の育英奨学金返済金額免除制度の創設

ウ 若者の起業支援

市長所信表明に対する質問要旨

民進クラブ 四 宮 和 彦

「伊東の魅力を発信し、文化力を高め、観光の振興と産業の育成によって、みんなが夢を形にできる未来を拓く」として掲げた3つの主要施策等に従って、以下4点伺う。

1 「みんながつくる伊東市」から、以下3点伺う。

(1) ボトムアップ方式による市政運営に関し、「未来ビジョン会議」及び「地域タウンミーティング」の設置について、以下3点伺う。

ア 「未来ビジョン会議」は、市長への諮問会議として設置されるものか伺う。また、同会議は行政組織の中でどのように位置づけられるか伺う。

イ 同会議の構成員の選出方法を伺う。

ウ 市政の広報・広聴活動については、既に行政協力委員、市政モニター等が規則に基づき設置されているが、「地域タウンミーティング」に期待する役割について、どのようなものか伺う。

(2) 行政のシステムの見直しと行政サービスのスピードアップについて、以下2点伺う。

ア 県から市への権限移譲を進めるとのことだが、法や条例に基づくことなく、本市の意向だけで進めることができるとは思われないが、どのように権限移譲を進めるのか、考えを伺う。

イ 権限移譲の手法により、行政のシステムを見直し、行政サービスのスピードアップを図るとしているが、2000年に地方分権一括法が施行されて以降、今日まで、国・県からの権限移譲に伴い、基礎自治体における事務量は膨大なものとなっており、一方で、行政改革の要請から、職員数は減り続けているのが現状である。そのような状況の中で、スピードアップを図れるとする合理的根拠はどのようなものか、見解を伺う。

(3) 市南部地域での「滞在型リフレッシュリゾート」の実現について、以下2点伺う。

ア 「滞在型リフレッシュリゾート」という言葉からは具体的なイメージが湧かないが、これは、行政みずからがリゾート開発事業を行うものか、その概要を伺う。

イ その実現によって、市民にどのような恩恵をもたらすのか伺う。

2 「みんなが楽しい伊東市」から、以下5点伺う。

(1) 入湯税の全てを観光に関連する事業の経費に充てることについて、以下2点伺う。

ア 入湯税は、地方税法第701条において規定される目的税であり、従前においても全て観光に関連する事業に充当されてきたと思われるが、その充当先において、従来とどのように違うのか伺う。

イ 観光客や観光施設の排出するごみ及び排水の処理のために必要な環境衛生施設に入湯税を充当することは、観光振興の観点からも目的にかなうものと思われるが、入湯税の全てを観光に関連する事業に充当する場合に、環境衛生施設の維持管理等に要する支出の財源をどのように手当てするのか伺う。

(2) 「にぎわいの創出」について、以下2点伺う。

ア 「にぎわい」の定義をどのように捉えているか。また地域がにぎわうための施策とは具体的にどのようなものか伺う。

イ 「にぎわいの創出」は地域振興にどのように寄与するのか伺う。

(3) 「伊東駅周辺における整備事業の推進」について、以下2点伺う。

ア 伊東駅周辺における整備事業の規模及び方法について、その概要を伺う。

イ 駅前再開発が長年進展しなかった最大の原因は、事業収益性の判断から、デベロッパーの参画を得られなかったことであると考えているが、「伊東駅周辺における整備事業」においても同様の問題が生じないのか伺う。また、「伊東駅周辺における整備事業」推進上の課題をどのように捉えているのか伺う。

(4) 「新たなシティプロモーション」の展開について、以下3点伺う

ア 「フィルムコミッションを積極的に推進」するとは具体的にどのような組織において、どのような活動を行うのか伺う。

イ 市長の「トップセールスによるドラマや映画の誘致」を行うために、どのようにセールスし、どのような作品を誘致するのか伺う。

ウ 「新たなシティプロモーション」とはどのようなものか、その内容を伺う。

(5) 「生涯スポーツのまち伊東」について、以下4点伺う。

ア ナイター設備つきサッカー場の建設に関連し、本市におけるサッカー競技人口及び市内のスポーツ競技人口全体に占める割合を伺う。

イ 市民スポーツの場としての専用グラウンドからプロサッカーリーグ公式試合が開催可能なスタジアムまで、求められるサッカー場の施設規模には大きな差があるが、どのような施設規模を想定しているのか伺う。

ウ スポーツツーリズムについて、どのようなスポーツを想定しているのか伺う。

エ 図書館・文化ホール建設基本構想について、基本構想の策定手順及びスケジュールはどのようなものとなるのか伺う。

3 「みんなが暮らす伊東市」から、以下2点伺う

(1) 「子育て支援」の充実について、以下4点伺う。

ア 「就学前の1年間の保育園・幼稚園の保育料を全額公費負担とする」とのことだが、「就学前の1年間」に限定する理由を伺う。

イ 保育料を1年間全額公費負担とする場合に要する財政負担額について、どのように見込んでいるのか伺う。

ウ 子育て世代の負担軽減を狙いとするのであれば、保育園における給食費等についても検討すべきと考えるが、保育料に限定する理由を伺う。

エ 医療費の無料化の対象を高校卒業まで拡充する場合に要する財政負担額について、どのように見込んでいるのか伺う。また、現在、本市においては、完全な無償ではなく、2歳以上は月4回を限度に1回500円の自己負担があるが、高校卒業まで拡充するに際しては年齢の拡充だけでなく、制度全体の見直しを行うのか伺う。

(2) 移住・定住施策について、以下2点伺う。

ア 美しい伊豆創造センターが運営する横浜のアンテナショップを活用した移住・定住促進策に、今後どのような役割を期待するのか伺う。

イ 「市内企業に就職した場合」の育英奨学金返済全額免除制度については、現行の半額免除制度を維持しつつこれに制度を追加するものなのか、制度の内容を伺う。

4 八幡野地区におけるメガソーラー建設計画について、市長が「地元が反対している本計画については、地元と同じく反対の考え」であることは理解できるが、市長が反対の意思を表明することと行政手続上どのような対応が可能であるかは別の問題である。市長の言う「開発の見直し」に向けて「可能な限り努力」するとは、建設計画の白紙撤回を求めるものなのか、あるいは、事業計画の変更等により、地域住民が受け入れ可能な建設計画への変更を求めるものなのか、その方向性及び実現可能性について伺う。

市長所信表明に対する質問要旨

公明党 長 沢 正

- 1 「変えていかなければならないと判断したものについては前例にとらわれることなく変えていき、市政の更なる発展に邁進していく」とのことであるが、既に変えていきたいと判断しているものがあるか伺う。

- 2 「みんながつくる伊東市」から、以下2点伺う。
 - (1) 「未来ビジョン会議と地域タウンミーティングを設置し、ボトムアップ方式による市政運営を目指」すとのことであるが、この構想を実現するための具体的な方策について伺う。

 - (2) 「滞在型リフレッシュリゾートを南部地域に実現」するとのことであるが、どのような構想であるのか、その概要を伺うとともに、実現の目標とする時期について伺う。

- 3 「みんなが楽しい伊東市」から、以下2点伺う。
 - (1) 「人々が常に滞留するスポットを点在させ、観光客だけでなく市民の皆様も一年を通じ楽しく過ごすことのできる仕組みを構築して」いくとのことであるが、具体的にどのような仕組みを考えているのか伺う。

 - (2) メディアを活用した国内外への観光戦略の展開や観光客による消費の拡大に向けて、六次産業化による魅力ある伊東ブランドの創出を図るとのことであるが、増加する訪日外国人旅行者の受け入れ環境の整備について伺うとともに、観光客の目線に立った施策の立案が大切であると考えているが、いかがか。

4 「みんなが暮らす伊東市」から、以下3点伺う。

(1) 「就学前の1年間の保育園・幼稚園の保育料を全額公費負担とするとともに、医療費の無料化を高校卒業まで拡充」するとのことであるが、その財源をどのように確保していくのか伺う。

(2) 通学費の補助について、具体的な補助内容及び条件を伺う。

(3) 移住・定住施策について、どのような目標を設定して推進するのか、考えを伺う。

市長所信表明に対する質問要旨

日本共産党 重岡 秀子

- 1 県議会議員として観光産業の発展に尽力したとのことであるが、本市観光産業の発展における課題をどのように考えているか伺う。

- 2 「今まで行政に届きにくかった若い世代の声」などを聞き、「ボトムアップ方式による市政運営」を提唱されているが、市役所の行政システムにおいても、若手職員の力を生かすことが必要になると考えるが、いかがか。

- 3 伊東駅周辺における整備事業を推進するに当たり、先頭に立って解決すべき課題をどのように捉えているか伺う。また、課題解決のための手だてや計画を推進する目標時期について伺う。

- 4 子育て世代への支援策について、以下2点伺う。
 - (1) 「就学前の1年間の保育園・幼稚園の保育料を全額公費負担とする」とのことであるが、それに要する財源及び目的を伺う。

 - (2) 医療費の無料化を高校卒業まで拡充する取り組みについて、実施の見通しを伺う。

5 八幡野地区におけるメガソーラー建設計画について、以下2点伺う。

(1) 「地元と同じく反対の考え」とのことであるが、市民生活や観光振興などに大きな影響を及ぼす全市的課題として、この建設計画にかかわる問題をどのように捉えているのか伺う。

(2) 「開発の見直しに向け、可能な限り努力」とのことであるが、本市として取り得る対応は具体的にはどのようなことか伺う。

市長所信表明に対する質問要旨

伊東新時代。 犬 飼 このり

1 「観光振興や文化・スポーツの振興は欠かせないものでありますことから、入湯税の全てを観光に関連する事業の経費に充てることで観光施策の充実を図」るとのことであるが、入湯税に関し、以下2点伺う。

(1) 近年の入湯税の推移及び使途について伺う。

(2) これまで入湯税を充当していた事業等の財源をどのように考えているか伺う。

2 図書館・文化ホールの建設基本構想について、「市民の文化活動のサポートや文化力の更なる向上を図る」とのことであるが、文化振興の拠点として、どのような構想を検討していくのか伺う。

3 子育て支援の充実を図る取り組みに関し、以下2点伺う。

(1) 「就学前の1年間の保育園・幼稚園の保育料を全額公費負担」とするとのことであるが、公立、私立を問わず、同様に実施するのか伺う。

(2) 「医療費の無料化を高校卒業までに拡充」するとのことであるが、中学校卒業後は高校生に限定されるのか、その対象範囲を伺う。

4 6月14日付の伊豆新聞に伊豆高原のメガソーラー開発業者の記者会見の記事が掲載されていたが、大規模なメガソーラー建設計画に対し、多くの市民が不安を抱いている。市長も開発の見直しに向けて努力をする旨を表明しているが、同計画に関し、以下2点伺う。

(1) 事業者は林地開発規模を縮小するとともに、地元雇用や税収面などで本市に貢献するとの説明をしているようであるが、本市として、どのように見直しを申し入れていくのか方針を伺う。

(2) 同計画が認められた場合、今後、同様の開発行為が計画される可能性があるが、どのような対策を講じていくのか、本市の考えを伺う。